8月10日は「道の日」

道路ニュース

THE ROAD NEWS No. 643
令和５年６月号

発行所 全国道路利用者会議
〒100-0013
東京都千代田区霞ヶ関3-3-1
尚友会館6階
電話　03-3501-5611㈹
発行人　小林　勉
定価　20 円（会員の購読料は会費に含む）

国土強靱化に必要な予算・財源の確保を！

第75回定時総会開催

全国道路利用者会議は去る5月16日（火）、東京「砂防会館別館シェーンバッハ・サボー」において、全国から関係者約600名が参加し、斉藤鉄夫国土交通大臣、木原稔衆議院国土交通委員長のご臨席の下、第75回定時総会を開催した。

総会では令和4年度事業報告及び収支計算書、役員の改選、令和5年度事業計画、同収支予算書及び会費などを審議した。さらに道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源の創設を求める等の決議を採択し、国会議員に要望した。

全国道路利用者会議第75回定時総会の開会にあたり、楠瀬賢一副会長（全国ハイヤー・タクシー連合会常任理事）が挨拶を行った。

議長には、檜山俊宏筆頭副会長（広島県議会議員）を指名し議事が進められた。はじめに、令和4年度事業報告、同収支計算書が審議された。続いて、役員の改選、令和5年度事業計画、同収支予算書及び会費について審議され、原案のとおり承認された。

次に、本年10月19日（木）に長野県で開催が予定されている第73回全国大会について佐々木祥二長野県道路整備期成同盟会会長（長野県議会議員）から大会及び道路視察など準備状況に関する説明が行われた。

定時総会は休憩をはさんで再開され、古賀誠会長が挨拶を行い、続いて、佐藤信秋会長特別補佐、斉藤鉄夫国土交通大臣、木原稔衆議院国土交通委員長より挨拶を頂いた。

また来賓として、国会議員、国土交通省道路局幹部、高速道路会社幹部などのご出席を頂いた。

続いて、全国道路利用者会議を代表して硲一寿北海道道路利用者会議常任理事（北海道興部町長）が意見発表を行い、坂本克己副会長（全日本トラック協会会長）が決議を朗読し、全会一致で採択された。

定時総会終了後、採択された要望書を持ち、国会議員に対して要望活動を行った。《2・3面に関連記事》

会長挨拶

古賀　誠　全国道路利用者会議　会長

本日は、全国から大勢の会員の皆様にご参集いただきまして、第75回定時総会を開くことができましたことをあらためて関係各位のご協力にお礼を申し上げたいと思います。

また、斉藤国土交通大臣をはじめ、副大臣・大臣政務官にご出席をいただいております。衆議院国土交通委員会の木原委員長にも同席をいただくことができました。日頃、道路行政に対する温かいそして力強いご指導を頂いてる衆参の大勢の国会議員の先生にも今日はお見えいただくことができ、感激と同時に心からお礼と感謝を申し上げたいと存じます。

全国道路利用者会議は非常に歴史の古い団体でございます。先人や先達の大変な思いの中で、昭和24年2月に設立されました。道は命、道は国の力、これを基本理念としてこの会が設立をされたわけでございます。

今年の当初予算は114兆円でございます。1兆円を超したのは、昭和32年、池田勇人先生が大蔵大臣の時代でありました。114兆円の中で、公共事業関係費は、6兆600億円、道路関係予算が2兆1，183億円となっております。当初予算は、昨年より7兆円増加しているのですが、公共事業関係、特に道路予算関係は、ここ数年ずっと横ばいです。この機会でございますので一つだけ申し上げておきたいことは、まだ決まっておりませんが、今後、防衛費は5年で1・5倍、5年間の総額で約43兆円です。子育てが大事だと誰でもそう思います。未来の日本の国のありようを考えたら、今のような減少状態が続いたら国が滅びます。しかし、今申し上げたように道路は、まさに人の命と国の力を象徴するものです。このままでいいという考えの方は1人もいらっしゃらないと思います。私は、社会が変わり、時代が変革し、様々な環境が変わる中で我々がやるべきこと、なすべきこと、我慢すべきこと、そういったことをメリハリをつけた活動をこれからやっていかねばならないと肝に命じて、全国道路利用者会議も活動していく必要があると思います。

道路を利用していただく代表として、全日本トラック協会、日本バス協会、全国ハイヤー・タクシー連合会のご参加もここ数年、本当に多くご協力をいただき、このような会にしていただきました。あらためて利用者の皆様に心から感謝を申し上げると同時に、皆様の要望を十分に反映し、そして成果を上げていきたいとこのように思っております。数々のスローガンを掲げさせていただいておりますが、その全てが、皆様方のご協力とご支援により実現しますよう、本年度も期待に応える事業を推進してまいりたいと思っております。

決議

次に掲げる項目を計画的かつ着実に実現すること。

一、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進するとともに、対策期間完了後も、昨今の地震・豪雨・豪雪などの災害の状況も踏まえた上で、国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと

一、災害への備え及び観光等の経済活動を支える基礎として、人流・物流の活性化に向けた高規格道路のミッシングリンクの解消、四車線化等とダブルネットワークの構築

一、重要物流道路の整備推進によるネットワークの強化

一、高速道路料金について、利用に応じた料金制度としつつ、事業者向け割引の継続

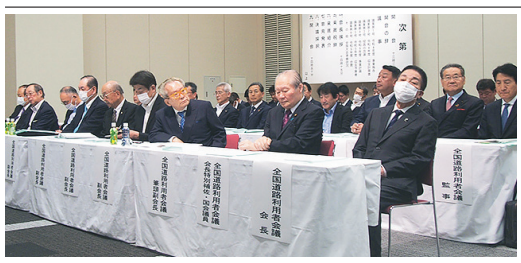
一、経済活動の生産性向上やカーボンニュートラル推進を図るため、トラック、バス、タクシー等の利用者目線での渋滞対策の推進、交通ターミナルや休憩施設の機能強化及び公共交通の維持・支援

一、子供達の安全・安心を守るため、通学路等の交通安全対策の強化・推進と予算の継続的な確保

これらの項目を踏まえ、資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも必要な道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和六年度道路関係予算は、所要額を満額確保すること。

令和五年五月十六日

全国道路利用者会議
第七十五回定時総会



令和4年度
「道路ふれあい月間」
推進標語

「明らかに
『お先にどうぞ』が
言えた朝」

“道路総合システムサービス”企業
NICHIREKI
ニチレキ株式会社
東京都千代田区九段北4-3-29　TEL 03(3265)1511代表